

アスレティックトレーニング専門職教育制度の国際比較
－日本におけるアスレティックトレーナー教育制度の発展に向けて－
International Comparisons of Athletic Training Professional Education
－ For the Future Development of Athletic Trainer Education System in Japan －

泉 秀幸^{1), 2)}, 溝口秀雪¹⁾, 笹木正悟¹⁾, 中村好男³⁾
Hideyuki Izumi^{1), 2)}, Hideyuki Mizoguchi¹⁾, Shogo Sasaki¹⁾, Yoshio Nakamura³⁾

¹⁾東京有明医療大学

²⁾早稲田大学大学院スポーツ科学研究科

³⁾早稲田大学スポーツ科学学術院

¹⁾ Tokyo Ariake University of Medical and Health Sciences

²⁾ Graduate School of Sport Sciences, Waseda University

³⁾ Faculty of Sport Sciences, Waseda University

キーワード: AT、資格、教育、制度

Key Words: AT, Credential, Education, System

抄 録

【背景】 近年、アスレティックトレーナー(AT)のグローバル化は進み、異国間における資格の相互認定制度に着手する国も出てきている。しかしながら、未だ明確なATの国際基準は明確化されておらず、AT制度の国際比較もなされていない。

【目的】 日本体育協会公認アスレティックトレーナー(JASA-AT)の資格・教育制度が国際基準を満たすために必要となり得る課題の導出を目的とする。

【方法】 アメリカ、カナダ、台湾におけるAT統括団体にATの「業務と役割」、「資格制度」、「教育制度」に関する質問をインターネット経由で送付し、そこで得られた回答ならびに各国のAT制度に関する文献、資料を用いて、各国における資格・教育制度の違いを比較、検討した。

【結果】 アメリカ、カナダ、台湾においては、AT資格の種別は医療分野の資格であったこと、また、その教育課程は大学での教育に一本化されていた。これに対しJASA-AT資格はスポーツ指導者資格であり、また大学、短大、専門学校での教育課程および講習会と複数の養成課程を有していた。JASA-AT養成における教育内容については、治療の項目を除いて他国と同様の内容を網羅し、且つ、臨床実習やCPR/AEDの必須化など、その養成課程は他国に劣らぬ内容となっていた。

【考察】 これらのJASA-ATの資格種別や養成課程の特異性には、日本におけるAT職の成り立ちや制度設立の目的が他国と異なることが背景にあると考えられる。

【結語】 今後JASA-AT制度が国際基準を満たすためには、「AT資格の種別の相違」、「大学、専門学校、養成講習会などの複数のAT養成課程の存在」が課題となり得ることが示唆された。